## ー校友会 Newse

## 平成28年度 栃木県校友会定時総会・研修会

平成28年度栃木県校友会定時総会・研修会が平成29年6月25日(日)午後1時30分より宇都宮ホテルニューイタヤにて開催された。司会は田代高志県校友会専務理事(72回),開会挨拶は佐川徹三県校友会副会長(68回)がされ,恒例の校歌斉唱の後,大川新県校友会会長(62回)より会報が故柴田勝会員を偲ぶ特集であることの説明,熊本地震の義援金に対するお礼,創立110周年記念行事の参加に対するお礼,校友会二種会員導入の経緯と経過,会費値上げをした経過,県歯会長選自主投票に至った経過等を含む挨拶があった。小林幹夫県会議員(67回)が県議会議長就任の挨拶をされた後,近藤勝洪校友会本部会長が挨拶で創立110周年記念事業の総括と本学受験の勧めや校友会地区割の見直しを始めたこと等を話された。

次いで春の叙勲で瑞宝双光章を受章された町田 裕 会員(50回), 白寿を迎えた若菜弁三会員(推), 米 寿を迎えた亀田博伸会員(43回)の表彰が行われた。

新入会員4名の紹介の後で議事に入り、会務報告 と平成28年度決算の承認、事業計画と予算案の承認 があり、役員の改選承認が行われた。県校友会新会



佐川徹三 副会長



大川 新 会長



小林幹夫 県会議員



町田 裕 会員に記念品贈呈



特別講演:渡邉文彦 教授

長には佐川副会長が就任され、力強い抱負を述べられた。大川会長の退任の挨拶があり、総会は安西未央子県校友会副会長(68回)の挨拶で閉会となった。

引き続き研修会(特別講演)が行われ、渡邉文彦 新潟生命歯学部歯科補綴学第2講座教授(66回)に 「健康維持・増進とインプラント治療」という演題 で講演いただいた。講演内容は患者のインプラント に対する要求とインプラントの現状、問題点につい て多くの症例と多くの客観的データを示されての分 かりやすいものだった。安全なインプラント治療を 行うために心しないといけないことをリアリティー のあるトラブル症例写真などを提示して説明され た。インプラント治療が日常になっている今、再認 識すべきことばかりだった。私たちはキチッとした スクリーニング、ミスをしない確かな技術で患者さ んがお亡くなりになる時に「ああ、インプラントし て良かった | と言ってもらえるようなインプラント 治療をするのが使命だとの話は、オッセオインテグ レイテッドインプラント黎明期から長年にわたり トップランナーとして走ってこられた渡邉教授なら ではの含蓄のあるもので、改めて気が引き締まる思 いだった。

質疑応答の後、場所を上階オーロラに移して宮下 均 栃木県歯科医師会会長をお迎えし、懇親会と なった。校友である親しさから毎度楽しい懇親会は 和やかなうちにお開きとなった。

(文責:前橋 潮・75回,

写真:鈴木定幸・80回, 前橋 潮)